

## 地域産学連携で進める、人材育成・技術開発のご紹介

金沢工業大学と北菱電興株式会社は、包括的な産学連携により、未来社会において活躍できる人材の育成と、社会や暮らしに役立つ新しい技術や新しい価値を創出することをめざしています。

本セミナーでは、企業と大学が連携して人材を育成するコーオペ教育とその成果について説明するとともに、デジタル技術やロボット技術を活用した農業DXに関する取り組みや、現場のニーズに答える技術開発や価値提案の一例を紹介します。



日時 2024年12月5日(木) 14:00~16:30

会場 金沢市異業種研修会館 第1研修室  
(金沢市打木町東1400番地)

対象 企業・個人事業主、研究開発機関、  
行政機関等の方 ※本市または本市近郊に事業所がある方が対象です。

定員 30名 ※先着順となります。

参加費  
無料

参加申込みはこちら



第1部 主旨説明 河合 儀昌 氏 (金沢工業大学 常任理事 産学連携局長)

第2部 「北菱電興が進める産学連携」

酒元 一幸 氏  
(北菱電興株式会社 取締役)

産学連携を通じて技術革新、地域活性化、そして関わる人々の成長を目指し、教育と研究の両面から大学と連携を深めている当社の取り組みを、具体例を交えて紹介します。経済的価値と社会的価値の両立へのチャレンジをご覧ください。

第3部 「人材育成と技術開発を共創する  
コーオペ教育」

河合 宏之 氏  
(金沢工業大学 工学部ロボティクス学科 教授)

近年、大学教育において実践的な学びの必要性が高まっており、企業においてはインターンシップから職業統合的学習への展開が期待されています。本講演では、職業統合的学習のひとつであるコーオペ教育の実例について紹介します。

第4部 「現場の声を活かしたものづくり  
新商品開発の挑戦と価値創造」

松田 夕貴 氏  
(北菱電興株式会社 事業企画開発部  
テクニカルエキスパート)

ものづくりの現場では、現場の課題を如何に発見して、どう新しい価値を提案するかが大切になってくると思います。農家の声を活かして開発した水田用自動給水機アクアポートに触れ、新製品開発や技術開発の苦労や工夫についてお話しします。

第5部 「産学連携による農業DX開発」

鈴木 亮一 氏  
(金沢工業大学 工学部ロボティクス学科 教授)

農業DXを目指し、産学連携で研究開発を行っている遠隔操作ロボットシステム(イチゴ摘果作業支援・生育状況見守りロボット)の事例を紹介するとともに、今後の課題や展望についてお話しします。

第6部 情報交換会

## 講師プロフィール

### 酒元 一幸 (さけもと かずゆき) 氏

北菱電興株式会社 取締役

大学卒業後、北菱電興に入社。技術職、営業職、新規事業企画を経て現職。2017年に大学のリカレント教育に触れ、越境的な学びの重要性を認識し、社内文化醸成に取り組む。産学連携を推進し、共同研究員、実務家教員を経て、大学と企業の枠を超えた開かれた学びの場づくりに注力。

### 河合 宏之 (かわい ひろゆき) 氏

金沢工業大学 工学部ロボティクス学科 教授

1999年金沢大学工学部電気・情報工学科卒業。2001年同大学院博士前期課程、2004年後期課程修了。同年法政大学PD研究員。2005年金沢工業大学講師。2010年同准教授。2013年米国フロリダ大学客員研究員。2018年金沢工業大学教授。博士(工学)。

### 松田 夕貴 (まつだ ゆうき) 氏

北菱電興株式会社 事業企画開発部 テクニカルエキスパート

大学卒業後、メーカーで設計開発に従事。現在は、北菱電興株式会社でスマートアグリビジネスグループのリーダーを務め、金沢工業大学で非常勤講師として指導。個人活動としてハッカソンやコンテストに参加し、多数の受賞歴あり。技術力と創造力を活かし、地域社会への貢献を目指す。

### 鈴木 亮一 (すずき りょういち) 氏

金沢工業大学 工学部ロボティクス学科 教授

1999年北陸先端科学技術大学院大学・情報科学研究科・博士後期課程修了。金沢工業大学助手、准教授を経て、2013年に現職。この間フンボルト財団奨励研究員としてドイツ・ウルム大学に滞在。2022年より学長補佐、Challenge Lab所長。博士(情報科学)。

※お申込みいただいた方には、今後、金沢市からセミナー等のご案内を差し上げる場合がございます。

- 申込方法 : ①「金沢市電子申請サービス」を利用したオンライン申請  
②E-mailによる申請
- 申込先 : 金沢市産学連携事業運営委員会事務局  
金沢市商工労働課 担当 中上  
TEL:076-220-2205  
E-mail:igyousyu@city.kanazawa.lg.jp
- 申込締切 : 令和6年11月29日(金) ※定員に達し次第、締切ります。